

全国地域づくり人財塾

主催：総務省、全国市町村国際文化研修所

地域活性化のためには、様々な知識・経験を持った人が、その知識・経験とアイデアを活かしながら、それぞれ活動に取り組み、地域で様々な活動が展開されている状況こそが大切です。そのような状況を生み出すために必要となる、地域づくり活動を自らの手で企画し実践できる人材、すなわち「地域づくり人」を育成するため、本講座を開催いたします。地域づくりに実績がある豪華な講師陣、そして熱い志を持つ全国からの参加者と熱い議論をしてみませんか？

開催要領

日 程 平成28年5月11日(水)～5月13日(金) (3日間)

場 所 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象 市区町村等職員及び地域づくりに取り組むNPO関係者の皆様
3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数 50人
募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費 10,500円
上記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限 平成28年3月29日(火)まで

申込方法 JIAMホームページ内「Web申込み」からお申し込みください。
「Web申込み」が難しい場合は、FAXでも受け付けています。

受講決定 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

JIAM メールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAM ホームページで受け付けています。

夏季における 軽装について

当研修所では、地球温暖化防止及び省エネルギーに資するため、夏季の期間(5月1日から10月31日まで)は、「ノー上着・ノーネクタイ」などの軽装での受講を推奨しており、職員も軽装で執務しております。公務研修の場における服装として品位が保てる軽装で受講してください。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団

全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

TEL 077-578-5932

FAX 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp

[ホームページ] http://www.jiam.jp

- 最寄り駅は、JR湖西線唐崎駅です。
- JR京都駅から唐崎駅までの所要時間は、約15分です。
- JR唐崎駅から研修所までは、徒歩約3分です。



研修所までの交通のご案内



【研修の内容及び日程】

5/11
(水曜日)

| | | |
|-------------|--|--|
| 11:00~ | 入寮受付・昼食 | |
| 12:45~ | 開講・オリエンテーション | |
| 13:00~13:15 | 【導入】人材力の活性化について | 総務省人材力活性化・連携交流室長 野竹 司郎 氏 「地域の人材力」向上の必要性和総務省のこれまでの取り組み、参加者への期待についてお話しします。 |
| 13:15~14:10 | 【実践事例】「NPOフュージョン長池の実践 ~多様で美しい共生の地域を創造する人材とは~」 | NPOフュージョン長池会長 富永 一夫 氏 「NPOフュージョン長池」の会長。東京多摩ニュータウンに暮らす普通のサラリーマンでしたが、ある日突然会社を辞めて地域に戻り、人と人のつながりが希薄なベッドタウンで少し昔の日本の町ならどこにでもあったような温かい人間関係を取り戻そうと一念発起。2012年には、緑の都市賞(国土交通大臣賞)を受賞。 “都市郊外”の新興住宅地と既存の住民との間で地域づくりの活動を実践されてきた講師の経験をもとに、どのような点に留意しながら地域活動を展開すべきか、その要諦を講義いただきます。 |
| 14:25~15:35 | 【実践事例】「地域再生~行政に頼らない感動の地域づくり~」 | 柳谷自治公民館長 豊重 哲郎 氏 柳谷は、鹿児島県肝属平野に位置し、集落ぐるみで豊かな生き方を目指す小さな「むら」です。土着菌を活用した環境保全型農業や生きた福祉活動が高く評価され、第8回日本計画行政学会「計画賞」の最優秀作品受賞。また、「むらづくり日本一」も受賞。 全住民参加型の感動の地域づくりを実践している豊重自治公民館長のご経験をもとに、行政に頼らない自立した地域づくりのポイントと、地域人材の力を引き出し、活動に巻き込むためのポイントを講義いただきます。 |
| 15:50~17:00 | 【実践事例】「地域の資源に新たな価値を創造する挑戦」 | 山梨市役所水道課 磯村 賢一 氏 甲府盆地東部に位置し、一般道日本最高所標高2,360mの大池峠が所在する山梨市において、標高差2,300mある地形や地域特性を最大限活用したヒルクライム大会を企画し、全国から注目を集めている。 地域住民や地域企業をどのような方法で巻き込み、大きな大会まで発展させることができたのか、地域の人材力を引き出す工夫を交えながら講義いただきます。 |
| 17:00~17:30 | 【グループトーク】 | 本日の研修の振り返り |
| 18:00~ | 交流会 | 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。 |

5/12
(木曜日)

| | | |
|-------------|--|---|
| 9:00~9:25 | 【グループトーク】 | 全体での共有 |
| 9:25~10:35 | 【実践事例】「地域づくりのマネジメント~つながりをつくり創発を生む仕組みづくり~」 | 慶應義塾大学SFC研究所長、総合政策学部教授 飯盛 義徳 氏 地域づくりの第一人者である慶應義塾大学飯盛教授は、実践を通じて地域の元気の具体的方策を探索されています。そのご経験から、先進事例の成功要因に基づき、「個々の人材の活かし方」「リーダーの役割を果たす人材」のほか、「リーダーを支えるための人材」など地域づくりにおける人材力の観点から講義いただきます。 |
| 10:50~12:00 | 【実践事例】「ICTを活用した地域活性化の道すじ」 | 日本マイクロソフト(株)会長室業務執行役員シズンシップリード 牧野 益巳 氏 地方創生の深化に伴い、地域のICT(情報通信技術)利活用を支えるICTリーダーのニーズは、今後ますます高まります。少子化を伴う高齢化社会においては、より少ない労力でより多くの生産物と付加価値を生み出すことが活性化のカギとなります。 コミュニティとその担い手、行政と企業とをICTで結ぶ新たな地域協働のポイントと、その先進事例について講義いただきます。 |
| 13:00~17:00 | 【講師との直接対話】 | 参加者からの質問に講師が応える形式で直接対話を行います。 【1R】(13:00~14:10) ■進め方…講師ごとに、参加者を事前に振り分け、参加者からの質問に講師が応える形式で対話を行います。 【2R】(14:25~15:35) ■進め方…講師を代えて、1Rと同様の方式で進めます。 【3R】(15:50~17:00) ■進め方…講師を代えて、1R、2Rと同様の方式で進めます。 |
| 17:00~17:30 | 【グループトーク】 | 本日の研修の振り返り |

5/13
(金曜日)

| | | |
|-------------|---------------------|---|
| 9:00~9:25 | 【グループトーク】 | 全体での共有 |
| 9:25~10:35 | 【事例報告①】 | 埼玉県志木市企画部秘書広報課兼危機管理室 石塚 匠 氏 高知県須崎市元気創造課 上野 伊代 氏 「全国地域づくり人財塾」既受講者から、現在の地域づくり活動の取り組みについて報告を行っていただきます。 |
| 10:50~12:00 | 【事例報告②】 | 福井県越前市秘書広報課 波多野 翼 氏 滋賀県高島市政策部 秘書広報課 戸田 由美 氏 「全国地域づくり人財塾」既受講者から、現在の地域づくり活動の取り組みについて報告を行っていただきます。 |
| 13:00~14:10 | 【成果発表と振り返り】 | 3日間の研修での体験を踏まえて、「自分が現場で取り組むべき具体的な行動」をまとめ、行動宣言を行います。 |
| 14:10~14:40 | 研修アンケート記入、閉講 | |

◎研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。

なお、研修についての最新情報は、JIAM ホームページをご覧ください。

◎受講者による講義中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。

◎当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所をお願いいたします。